

News Release

クリエイターや企業の“顔の見える”出会いをサポート 設立10年で協働事例が1,500件を突破

～ピクトグラムで商店街を活性化する事例など、新しい協働事例をHPと冊子で発信～

クリエイター支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」(所在地:大阪市北区 所長:堂野 智史)は、10年間で3000社を超える大阪のクリエイティブ関連事業所を訪問し、顔の見えるクリエイターのネットワークを構築。少人数制ミーティングやマッチングイベントなどの開催を通して、クリエイター同士、クリエイターと企業などとの出会いをサポートしてきました。その結果、設立10年で1,589件(2003年5月～2013年3月)の協働事例が生まれました。これら協働のプロセスや結果を紹介していくことで、今後もクリエイターの協働の促進、大阪のクリエイティブ産業の活性化を目指します。

■人がつながり協働が生まれる

大阪のクリエイティブ企業は約14,000社(総務省「経済センサス」平成21年版)と、東京に次ぐ全国2番目の集積があります。メビック扇町は、これら大阪のクリエイターの活性化を図るため、クリエイターの情報発信、ネットワークづくり、ビジネスマッチング、人材育成に取り組んでいます。ニーズとシーズを合わせるだけの仕事のマッチングではなく、人がつながり信頼関係を築くことで、良好な関係に基づく協働が生まれるという考えのもと、“顔の見える”関係づくりを進めてきました。その結果生まれた協働事例は、メビック扇町のHPに7月5日にオープンしたコラボ事例のコーナー(<http://www.mebic.com/collabo/>)や、年に一度発行している冊子「OSAKA CREATORS」などで、今後も順次発信していきます。



公共用ピクトグラム一例

■コラボ事例「ピクトグラムで商店街を活性化」

最近の事例では、メビック扇町を介して出会った商店街のコンサルタントとグラフィックデザイナー鈴木信輔氏が、情報を視覚的な図で表現する「ピクトグラム」を制作することで、商店街を活性化する協働プロジェクトがあります。顧客とお店のコミュニケーションのきっかけになるよう、一店ずつインタビューして各商店の強みを再整理し、それを表すようデザインした各商店用と、商店街のにぎわいにつながるよう、下町の雰囲気を中心にデザインした交通案内や営業時間などの公共用の2種のピクトグラムを開発。丁寧な案内で外部の人も入りやすく、入った人がお店の人と話しやすい雰囲気を作ることで商店街の活性化を図った事例で、9月末にHPのコラボ事例にも掲載予定です。

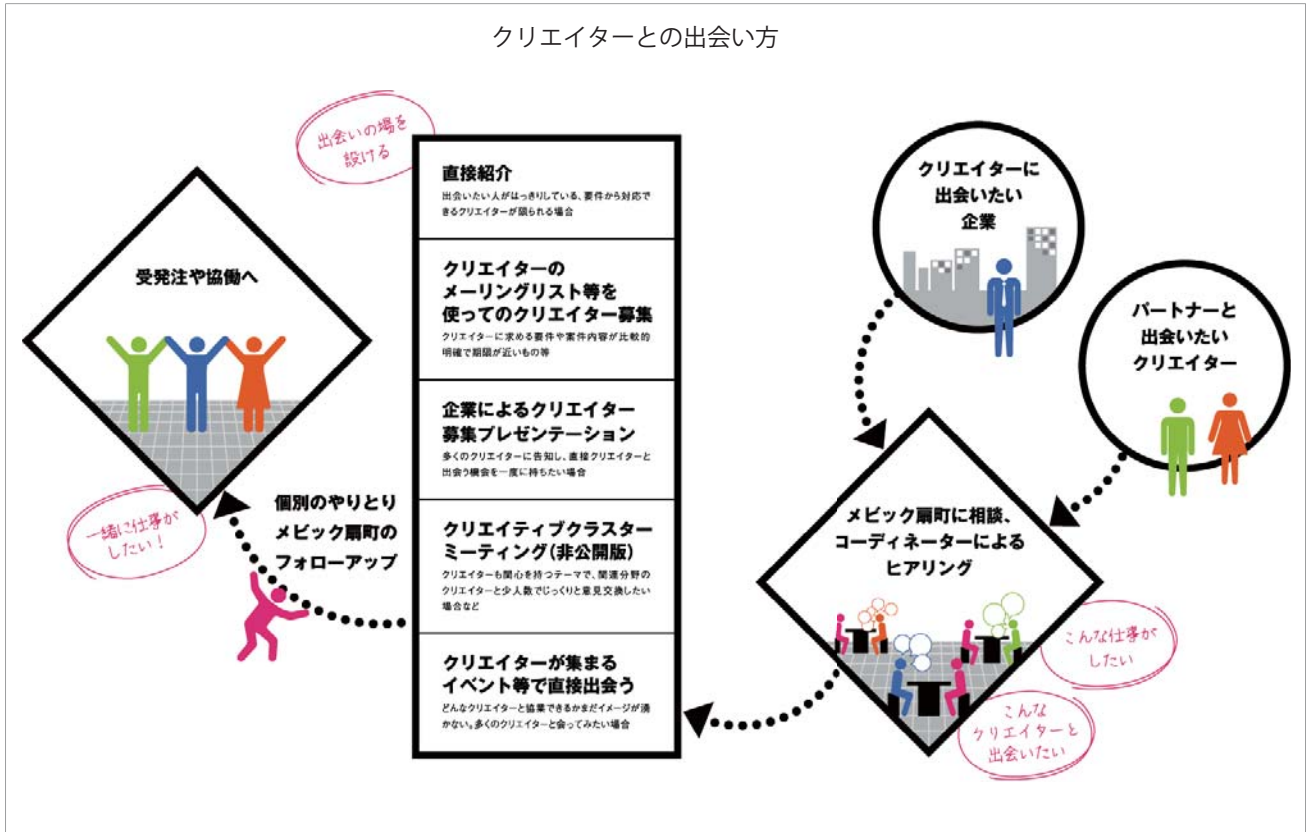


商店用ピクトグラム一例

参考資料

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町とは

メビック扇町は、2003年5月に大阪市経済局が設置し、公益財団法人大阪市都市型産業振興センターが運営するクリエイター支援施設です。2007年4月より「クリエイティブクラスター創生事業」を開始。メビック扇町では、大阪で活動するクリエイターたちが互いに知り合い、顔の見える関係を築くための新しいコミュニティづくり、大阪に集積するクリエイティブ関連企業の活性化に取り組んでいます。



本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

広報担当：松井

〒530-0025 大阪市北区扇町 2-1-7 扇町キッズパーク 3F

TEL:06-6316-8780 (平日 10:00 ~ 21:30)

FAX:06-6316-8781

e-mail:info@mebic.com

ホームページ : <http://www.mebic.com/>